

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 美幌町社会教育委員会議 (第6回)
開 催 日 時	令和5年3月23日 (木) 18時30分 開会 20時15分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 3階 中ホールA・B
出 席 者 氏 名	委 員： 牛島委員長、杵師副委員長、池田、酒井、伊藤、茂手木、 寺田、下山、西谷内 各委員 (9名出席) 教育委員会：矢萩教育長、遠藤教育部長、立花社会教育課長、浅野 スポーツ振興課長、鬼丸博物館課長、竹花図書館長 (6名出席)
欠 席 者 氏 名	辻、澤田、國澤 各委員 (3名)
事務局職員職氏名	野村社会教育グループ主査、山本文化振興グループ主査 (2名出席)
議 題	報告事項 (1) 令和4年度 社会教育委員事業視察  協議事項 (1) 令和4年度 社会教育委員研究調査 (2) 令和5年度 美幌町社会教育委員活動計画 (3) 令和5年度 美幌町社会教育関係団体に対する補助金交付 (4) 第8次美幌町社会教育中期計画単年度評価  その他 (各課課長・館長連絡事項、次回会議日程等)
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	なし
会議資料の名称	令和4年度 美幌町社会教育委員会議 (第6回) 資料 (1) 資料1 令和4年度 社会教育関係各課事業実績 (重点事業実績) (2) 資料2 令和4年度 社会教育関係各課事業実績 (3) 資料3 令和4年度 美幌町社会教育員研究調査報告書 (案) (4) 資料4 令和5年度 美幌町社会教育関係団体補助金交付団体資料 (5) 資料5 各課課長・館長連絡事項 その他 (各関係機関広報紙、教育委員会行事予定表、各課行事チラシ等)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

令和4年度 美幌町社会教育委員会議  
(第6回)議事録

1 開 会

---

(牛島社会教育委員長)

皆さんこんばんは。定刻となりましたのでこれより令和4年度第6回美幌町社会教育委員会議を開催いたします。

本日は夜分にも関わらず、またお足元が悪いところお集りをいただきましてありがとうございます。

また、年度末で大変お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

開会に先立ちまして事務局より報告事項がございます。

(立花社会教育課長)

それでは座ったまま報告事項を申し上げますと思います。

本日の会議ですが澤田委員、辻委員、國澤委員より欠席のご連絡をいただいております。また、西谷内委員につきましては少々遅れますということでご連絡をいただいております。

また、図書館協議会委員から選出されておりました宮崎委員につきましては2月28日付でその職を辞する旨申し出があり、このことにより社会教育委員につきましても辞任ということになりますのでこの場で報告させていただきます。

本日の会議につきましては美幌町自治基本条例第11条の規定に基づきまして全ての議案を公開で実施いたします。

次に、本日の会議の議案と資料を確認させていただきます。

土日を挟んだ関係で、ギリギリの到着だったかと思っておりますので大変申し訳ございませんでした。もしお忘れの方がいましたら遠慮なく言っていただければと思いますし当日の配布資料につきましても、もしなければ言っていただければと思います。

まず、資料5各課長・館長連絡事項、そ

れから北海道社会教育委員連絡協議会発行の道社連だより第162号、それから全国社会教育委員連合発行の社教連会報第92号、北海道教育委員会発行の広報誌「ほっとネット」第70号がA3版になっていたと思います。それから教育委員会の4月行事予定表と博物館から「カメラは見た」のチラシですね。それとちょっと厚い黄色の表紙の文集めいわ、図書館からのお知らせですね。以上8種類のもが今手元にあると思います。なければ言っていただければと思います。

(野村社会教育グループ主査)

本日お配りした資料はお持ちいただいておりますでしょうか。資料1, 2, 3, 4と評価表ですね。もしなければお申し付けいただけたらと思います。

2 開会あいさつ

---

(牛島委員長)

それでは開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

改めまして、こんばんは。年度末でございますが、今日もちょうと欠席のご連絡が届いていて残念だなと思っております。この委員で2年間活動して参りましたけれども、特に第8次の美幌町の社会教育中期計画の策定という大きな仕事をですね、皆さんと力を合わせながら作り上げたと思っております。特に委員の皆様には大変お世話になったなと振り返っております。

このメンバーでの会議は本日が最後となりますので皆さんに感謝を申し上げるとともに皆さんの意見をいただきながら会議をまとめ上げたいなと思っておりますのでこの後よろしく願います。

次に矢萩教育長からご挨拶いただきます。

(矢萩教育長)

改めまして皆さんお晩でございます。年

年度末の何かとお忙しい時に加えて、昨日侍JAPAN の優勝で興奮が覚めやらぬ中でお疲れのところご出席いただき誠にありがとうございます。

皆様には常日頃から社会教育の実践者として色々な分野でご活躍いただいておりますことに感謝と敬意を表します。また、委員長からもお話ありましたように本日の会議が年度最後の会議となります。任期中本日に皆様には様々なご意見を賜り、町の教育行政推進にご尽力いただきましたことを感謝申し上げます。

さて、町では先週 16 日まで町議会が開催され統一地方選挙も今後控えております。町長、町議選挙を前にして骨格予算と言いつつも町民生活に欠かせない事務事業を中心とした総額 226 億円の令和 5 年度予算が可決され新年度に向けて歩み始めています。

本日の会議では令和4年度の研究調査令和5年度の活動計画、補助金交付等々の案件を用意しております。どうぞお互いご忌憚のないご意見を交わしながら実りのある会議となりますことをお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

教育長ありがとうございました。

### 3 報告事項

(1) 令和 4 年度社会教育関係各課事業実績

(牛島委員長)

では、さっそく議事に入りたいと思います。

報告事項1令和4年度美幌町社会教育関係各課事業実績についてを議題とします。年度末を迎えましたので各課の実施事業の結果等について事務局より報告をお願いします。

なお、説明については着席のままお願いします。また、質問等がある場合は全ての報告が終った後一括してお受けいたしますのでよろしくお願いいたします。

はじめに社会教育課よりご報告をお願いします。

(立花課長)

はい。では私の方から社会教育課の方をご報告させていただきたいと思っております。

めくっていただいて資料 1 になります。

資料1の重点事業ということでピックアップしたものがこちらの方に出しております。

細かいところは資料 2 の方に各種事業がですね。取り組んだものが記載されておりますけれども、時間の関係もございますので主な流れについてご報告したいと思います。

社会教育課の分につきましては開いていただいて 1 ページになります。

まず、大変申し訳ありません。訂正からお話をしたいと思います。

推進目標 1 の表の中の一番下の方の反省評価 A となっている右側に 4 行ほど文章が書いてあります。その中の 3 行目中間の右側「未来のアーティストでは 6 件の補助申請」となっておりますけど申請が来まして、事業自体はまだ完了していませんが、年度末ということもありましてこれ以上増えないということですね。訂正していただきまして「8 件」ということで訂正いただきたいというふうに思います。

それでは、説明をさせていただきたいと思っております。

1 ページ目の上段 推進目標 1 の所になります。事業番号が右側に書いてございますけれども事業番号 16 の未来のアーティスト応援事業になります。

今年度からの新規事業ということで芸術文化事業に取り組む高校生までの子どもたちを対象としました、全道・全国規模の大会やコンクールなどへの出場するための経費の一部を補助するものでございます。

実績としましては、今訂正させていただきましたけれども 8 件で約 88 万円ということで予算が 100 万円ということで 90%ぐらいの執行になる予定です。

全道・全国に行く、特に本州に行く大会が多くてですね。やはり、飛行機で移動ということでそういった経費の助成をしていくことによって、今まで躊躇していた大会への参加にも参加につながっているということも中にはあるんじゃないかなというふうに考えております。

その下の事業番号 5 番の高校生リーダー養成講習会ということで例年実施している事業ではありますけれども、令和 4 年度につきましては民間教育事業者の協力をいただきながらですね、美幌高校だけではなく津別町、大空町にもお声をかけさせていただきました。また中学生の方にもチラシを配布するなどして呼びかけをしたところ 55 名の参加ということで、大変子どもたちからも良かったなどの声が多く聞こえる事業となっております。具体的には 12 月 24 日から 4 日間、午後 1 時からスタートして午後 5 時に閉講する日程で、その 4 日間のうち参加者は決められた日程ということではなくて、大学生スタッフが中心になるんですけど、その方と相談しながら「今日はこんなことしたい。」と、自主的にやることを決めていただきながら、それに寄り添った形でスタッフの方が色々なサポートをしていくということで実施をしていっております。

当初、非常に申込が少なくでどうしようかというくらい焦った部分があったんですけどもふたを開けてみるとですね。口コミで広まって、当初初日しか参加しないと言っていた子が 3 日間来たりとか、どんどん新しい子が増えてきたりとかですね。本当に輪が広がっていい事業がですね。ちょっと我々が伝えきれなかったところは今後、自ら広めていただいてよりよい形で実施することが出来たという、我々は反省すべき点が多く残ったんですけど事業としましては

非常にいい形で終了できたかなと思っております。

次に、中段の推進目標 2 の事業番号 2 「イマドキ講座」でございます。こちらは、講演家 神田山陽さんをお迎えして、世相を切る講演や伝統芸能の講演のほか、時世への皮肉も交えた語りを披露していただいて盛会のうちに終わったものでございます。ただ、イマドキ講座とそこだけに絞ると内容的にイマドキではない部分の内容もあったかなと若干反省点になるのかなと思います。

その下の事業番号 11 芸術文化鑑賞事業につきましては皆さんご承知の劇団四季のミュージカルということで「人間になりたがった猫」を上演し、多くの方に鑑賞いただけたところでございます。

次の下段の推進目標 3 事業番号 1 番の多文化共生事業ということでコロナの関係で取組が遅くなったんですけども、この 3 月、ちょっと年度またいで 4 月ということで JA びほろ、クレードル食品、2 つの事業所で働かされている外国人技能実習生の方に着付、和太鼓など体験するということが一部終わった部分がありますけれどもまだ進行中のものもあります。今週末にもありまして進行中ということでございます。また、多文化共生というところでは昨年 12 月にを JICA の講師を招きまして研修会を実施しておりますし、そのうえの事業番号 4 美幌町女性国内研修もそういった多文化共生というのを主題に置いた取り組みをしていたところであります。

最後になりますけども、事業番号 3 青年団体の活動の援助としまして、現在の町内の青年関係団体としまして Fjoy と B-live の 2 つがでございます。

Fjoy につきましては大変子どもたちに人気の「お化け屋敷」を 8 月の暑い時期にやっております。

B-live につきましては自治会連合会青少年部会と共催しながら「水鉄砲大会」や青年講座の開催、それから青年の居場所

づくりということで今年度から B-Labo という  
ことで気軽に集える場所を設定しまして交  
流してというようなことでメインが人と人の交  
流ということでなかなかコロナの影響が大き  
くてですね、考えながらそれぞれ実施して  
きているというような状況になってきており  
ます。

以上、社会教育課の重点事業の説明と  
なります。

(牛島委員長)

ありがとうございました。

続きましてスポーツ振興課より報告お願  
いします。

(浅野スポーツ振興課長)

はい。それでは資料 1 の 2 ページ、スポ  
ーツ振興課の部分を説明させていただきます  
ます。

では、まず推進目標 1 でございますが 1  
つ目が総合型スポーツクラブの自立支援と  
いうことでこちらにつきましては資料 2 の  
11 ページ以降に記載しておりますのでご  
覧いただきたいと思いますがスポーツクラ  
ブの各種事業を実施いたしまして、積極  
的なスポーツ普及活動を展開していただ  
いております。

続いてスポーツ指導者資格取得補助事  
業でございますが、これにつきましては補  
助事業としまして日本スポーツ協会公認の  
スタートコーチという資格の制度が変わ  
った関係もございまして、この資格を持  
ていないとスポーツ少年団の指導者登録  
ができないということもあつたりして、  
教育委員会としては若い指導者の資格  
取得を奨励する意味も含めまして補助  
事業を拡大しております。今年度につ  
きましては 11 ページにも記載あり  
ますが陸上競技 1 名、野球 1 名それ  
とスタートコーチの方で水泳ですとか  
バレーボール、合気道等計 15 名の  
指導者が講習を受けてスタートコーチ  
の資格を取得しています。正式な交付  
については 9 月ごろになりますが 15  
名に対して資

格取得の補助金を交付しているところ  
でございます。

続いて未来のアスリート応援事業につ  
きましては子どもたち少年団の家族等、  
全道・全国大会の派遣費補助というこ  
とで実施しておりますが、今年度はコ  
ロナの状況も、感染対策をしながら大  
会が開催されておりそれぞれ少年団  
で大会に参加されております。

それで、全道大会に 20 団体、全国  
大会に 14 団体出場いたしまして当初  
500 万の予算を組んでおりましたが足  
りず、533 万円の補助ということで見  
込んでおります。

推進目標の反省評価については A  
ということでございますが、ただ今説  
明した内容で充実した事業展開が  
出来たのではないかなというように  
考えております。

推進目標 2 ですが、まず情報提供  
の充実ということでこちらも各種町  
のホームページ、または教育委員  
会の YouTube チャンネルで動画配  
信するなど情報提供に努めてお  
りますが現在、町のホームページ  
の方に「子どもの活躍応援サイト」と  
いうことで活躍が見えていただけ  
るように、こちらの方でサイトに  
情報を集約している状況でござ  
います。

続いてビホロ 100km デュアスロン  
大会ですが、3 年ぶりの開催という  
ことで今回は本大会を行うことが  
できまして、コロナの感染状況も  
収まらない中ではありましたが感  
染対策をして無事終了することが  
できました。こちらについては反  
省評価 B ということになって  
おりますが今後も引き続き事業  
展開に努めてまいりたいと思  
っております。

推進目標 3 でありますが、スポーツ  
協会の活動奨励ということで資  
料の方では 14 ページ以降に記  
載されておりますが、今年度は  
水泳競技の原英晃さんをお招き  
いたしまして水泳の講演、実技  
指導を実施していただきました  
ところです。

レベルアップトレーニング教室  
については専門の講師をお呼  
びして一般の方々に参加して  
いただいております充実した  
教室を開催

することができました。

スポーツ指導者講習会ですが先日 3 月 8 日ですが、「子どものやる気をいかに引き出すか目指せグッドコーチ」というテーマでスポーツフォーキッズジャパンの渋谷先生をお招きしまして 47 名の指導者または関係者の方に研修をすることができました。こちらの反省評価については A ということで記載のとおりとなっていますので後ほどご覧いただければと思います。

以上です。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

続きまして博物館よりお願いします。

(鬼丸博物館課長)

博物館よりご説明させていただきます。

3 ページになります。

上段の推進目標 1 についてなんですけど事業番号 1 番から 3 番で書きましとおりで通年で開催しています。全 11 回の博物館講座、それから全 3 回行いましたみどりの村を利用した体験学習会及び、全 58 回行いました学校教育と連携した体験学習会におきまして、美幌町の自然や歴史、美術の価値に関しまして多くの方に触れる機会を提供いたしました。

また、特に体験学習という形で学校の事業支援を行ない、その中で SDGs や環境保護の視点から内容を工夫したりして概ね目標を達成できたのではないかと考えまして、反省評価を A とさせていただきます。

それからその下の推進目標 2 についてですけれども事業番号 4 の各専門分野を持つ学芸員がそれぞれ美幌町の自然や歴史・美術に関する調査研究を行い資料の収集を行っていますが、得られた成果につきまして展示会や各種イベントの中で活躍して広く参加者に対しましてその魅力を発信しています。

それから事業番号 6 のような形で得られ

ました情報につきましては毎月発行の町広報紙や博物館情報誌等の印刷物や博物館ホームページ、メールマガジン等の SNS の媒体を利用して逐一情報を更新しながら発信に努めております。全体的に新型コロナウイルスの感染状況がまだ十分に収まっていなかったこともあって特に一時、利用につきましては一部を中止にしたり、募集人数を制限したりした部分がありましたので反省評価を B とさせていただきます。

続きまして 4 ページをお開き下さい。

推進目標 3 についてですが事業番号 1, 2 のような形で異世代が交流できて多様な文化を学ぶために町内の他の施設と連携して展示会を開くことを進める予定でしたけれども、新型コロナウイルス感染対策のために特に緑の苑、美幌療育病院等で残念ながら展示の更新が出来ませんでした。

同様にですね、その下の 3 番、4 番という形で博物館の調査研究活動や展示活動、その他講座運営に関しまして興味や関心、知識、経験がある多くの方を交えて個人が持っている技術を生かしてもらえるような形で進める予定でしたけれども、これも新型コロナウイルス感染対策のためにボランティア活動の周知をやむをえず制限する形となりました。

その他参加していただくボランティアの方々にも分野に偏りがなく参加していただけるような工夫の余地がまだあるという反省になりましたので反省評価は C とさせていただきます。

以上、簡単ではありますがご説明させていただきました。よろしく申し上げます。

(牛島委員長)

ありがとうございました。

続きまして、図書館課より報告をお願いします。

(竹花図書館長)

図書館課の事業につきまして報告いたします。令和4年度は従来継続実施してきた事業も、どんどん新型コロナウイルスが縮小していききましたため、実施することができませんでした。

5 ページになりますけれども、例えば推進目標1の「子ども未来絵本036事業」それから「えいごとあそぼ!」をやってきました。その中で、今年度は美幌町図書館開館70周年という節目を迎えましたので、職員全員が話し合っって色々な事業をすることにしました。それから、利用していただいた町民の皆さんに感謝をするとともにもっと実感していただいて、さらにその方に利用していただくことを目標に色々なアイデア出してもらって事業を行いました。予算もたくさんつけていただきました。

まず1つ目は図書館公式キャラクターを作成しました。若い職員もそうでしたけれど色々なご当地キャラが活躍していますのでそれをマネいたしまして美幌町図書館公式のキャラクターを絵本の作家に依頼しました。2つの構想案をいただきました。それから町内外の方に名前を公募いたしまして決定いたしましたのが「トモビー」となりました。今日お配りした図書館だよりも載っていますけれども、多分美幌に生息しているモモンガをベースに作っていただきました。図書館のト、モモンガのモ、美幌町のビということで3つあわせてトモビーということで素敵なキャラクターを作っていただきました。缶バッジを作ったり、資料を作ったり、広報にイラストを付けたり活躍させていただいています。

2つ目はキャラクターの名前の表彰の図書館フェスティバルの方で行いました。70周年の式典というわけで簡単ですけども教育長にも参加していただきましたけれども皆様の前でご披露させていただきました。

3つ目に先日、3月11日に北海道出身の直木賞作家、桜木柴乃さんをお呼びしての講演をしていただきました。講演という

よりは、フリーアナウンサーの方と2人でトークショーをやっていただき、大変好評でした。200人の定員を設けたのですが4日か5日でなくなりました。多くの方に配ることが出来ずに大変申し訳なかったと思います。

この3つの大きな事業で多くの町民に喜んでもらえたと思いますし、その成果を次年度につなげてきたい、そういう意味で推進目標の3はAを付けていますが、課題としまして推進目標2にCがついています。実は図書館の運営について帯広大谷短期大学の吉田教授に色々アドバイスをいただいたのですがその中で図書館をPRするにはやはりホームページ、あるいはSNSをもっと活用しないと、今の時代若い人の気持ちを惹きつけることはできないよ、と言われてました。それを踏まえて色々やっではいるのですが、なかなか技術的な面とか予算の面などで十分な取組が出来なかったと思います。これは次年度へ向けた大きな課題としてもっとPRして、せっかく図書館70周年で盛り上がったところでもありますので、大切にして深くつなげていきたいなと思っております。

以上です。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

それではどこからでも質問OKです。気になることがありましたらお願いします。

いかがでしょう。

(寺田委員)

社会教育課のところで未来のアーティスト応援事業についての質問なんですけれども例えばどんなアーティストの方が参加されるかという報告ありますでしょうか。

(山本文化振興グループ主査)

では、私の方からご紹介させていただきます。

今、現在のところつい最近までのところ

まで来まして 8 件ということでお申込みいただいています。

そのうち 4 件がピアノでございます。ピアノのコンクール、連弾、後はソロを含めて 4 件という形でいただいております。残りの 4 件は吹奏楽関係でございます。ソロでサクソ、ユーフォニウムが 2 件というふうな形で後の 1 件がアンサンブルというふうな形で申し込みをいただいているというところでございます。

なお、文化系の大会が 3 月に集中しているということもございまして、ちょうど本日本大会があったものとまた来週に大会があるものといった形でまだ残っているというところでございますので申し添えさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

(牛島委員長)

ただ今説明ありましたように、報告に関してですけど課長からもお話ありましたけれど学校単位のコンクールではなくて個人の技術を持ってですね、全道・全国に出場する子どもたちですけど 1 人で演奏するので必ずピアノの伴奏がつくんですよ。今まではピアニストさん連れていく旅費だとかは全部出場するご家族が負担して出ているんですよ。でも、このアーティスト応援事業が出来たことによって、少し町からも応援いただけることで思い切って挑戦できる子どもたちが出てきたということですのですごく素晴らしい事業だと思いますし、成果も十分に出ていると思います。このサクソの子はご存知の方も多いのと思いますけど音大を受験して合格して 4 月から東京に出ていくということでございます。

コンサートもあったんですけど、とても素晴らしい演奏でした。そういう子どもたちが少しずつですね、育っているな、育てていただいているなど感じております。余計なことを話してしまいましたが自分の守備範囲でしたのでお話をさせていただきました。

他どうでしょうか。

茂手木さんいかがでしょうか。

(茂手木委員)

個人と団体の場合で補助金というか金額ってというのは違ってくるんですか。

(立花課長)

要項がありまして人数が増えていくと当然とかかる経費が増えていきますから、補助する額も増えていきます。

(牛島委員長)

守備範囲が違うのですが、コンクールとか団体で出場する大会は学校が、中体連と同じような考え方なのですが、未来のアーティスト応援事業はスポーツ少年団と同じように個人で挑戦出場していった全道全国大会への出場権を得たものに対して、全額ではないのですが、学校教育でカバーできない部分を社会教育の事業として応援してもらっているという形ですね。

そこはスポーツとは違うのかなというところですね。補助率とか。スポーツは団体もあるし、個人もあるしというところで。

(浅野課長)

そうですね。個人の国体に出るとか個人の競技もありますし、基本的には社会教育も同じように、大会に参加する中で対象経費に対する 2 分の 1 とか 3 分の 1 とか考え方は変わらないかなと思います。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

スポーツの未来のアスリート事業、芸術版のアーティスト事業ということでスタートしたばかりなんですけど本当に助かっております。

挑戦する子どもたちが圧倒的に増えましたね。また、理解が増えるともっと挑戦できる子どもたちが増えていくのかなと思っております。



他何かございませんでしょうか。  
図書館、博物館、スポーツ振興課でも。

(下山委員)

おもしろそうだなと思ってもうちょっと聞きたいなって思ったのは図書館課のビブリオバトルなんですけど、準備不足で開催することができなかつたと書いてあるのですが予定としてはどのような感じだったのでしょうか。

(竹花館長)

コロナがまだ流行っていたので皆の前で自分の意見を言い合うような感じができなかつたのですが、お互い自分を主張することで相手が持っている話を受け入れるみたいな感じです。出来たら学校の子もたちを巻きこんでやりたいなと思っていたのですが1回目としては、大人で練習して、何とか来年度は子どもたちと一緒にできたらなと思っています。

(下山委員)

ありがとうございました。美幌の中高生と一般の方も対象にするみたいな感じですか。

(竹花館長)

そうですね。広く対象にして。

(下山委員)

ありがとうございます。

(牛島委員長)

他、いかがでしょうか。

(酒井委員)

社会教育課の高校生リーダー養成講習会なのですが、非常に素晴らしい企画で私も参加したんですけれど、最初にイメージしていたものとは違ってですね。素晴らしくてですね。ちょうど本校は冬休みの講習会とぶつかってしまって、途中参加だと

かというところで参加したのですが、参加した生徒はすごくいい感想を言っていて、また行きたいということで素晴らしいものでした。そして、3年生にも受けさせてあげたいなと思ひまして、冬休みの3年生は本当に追い込みの時なので、できれば夏がいいなと。恐らく今度は一度体験しているから、どういうものかとはわかっていると思いますしきっと希望は出ると思うんですね。そして、口コミで参加者もまた増えていくというふうに思っておりますので、これは容ぼうですけど、夏に実施していただけないかなということですよ。

(立花課長)

今回の開催に当たりまして本当にありがとうございました。今回ですね。本当に時期がなかなか厳しい時で私たちも冬場にどうですかと10月ぐらいに声をかけられたものですから。継続してやっていただけないということで民間の会社の方はですね。そういった回答をいただいておりますので、来年度につきましては夏の開催ということで今徐々に打ち合わせを始めているところなんですけれど、恐らく々4日間の開催の形になると思うんですけれど、初日から参加いただけますように日程を調整しているところでございます。

(酒井校長)

すいません。よろしくお願ひします。

(牛島委員長)

夏に積極的にね。開いていきそうなので楽しみにしていこうと思います。

他にいかがでしょうか。

私の方から1件、劇団四季が去年コロナの関係でスキップしたんですけれど来ていただいて見させていただきました。札幌の四季劇場がコロナ等々の関係で閉鎖になったんですよね。なので、劇団四季を見るために東京まで行かないといけない状況の中で、やっぱり北海道に来ていただくち

チャンスがあれば美幌町の皆さんにも見ていただきたいというふうに思っておりますので継続的に開催していただければなと思っております。毎年というわけにはいかないのですが、来たる時期が来ましたら是非町民の皆さんに見てもらえたらと思います。本当に感謝しております。

他どうでしょうか。

(下山委員)

コミュニティスクールについて教えてほしいんですけど、僕もコミュニティスクールについていまいよくわかっていなくて、今後どういう形で進んでいくのかなというところを知りたいなと思っています。

(野村主査)

社会教育課の方でやっているコミュニティスクール事業につきましては文部科学省の方で言っている学校運営協議会制度とは別な視点です、それぞれの小学校区を単位とした子どもたちと大人の方と一緒に体験する活動を通して、小学校区を単位とした子どもと大人の方の皆さんの交流をメインに活動しております。美幌の事業は全国区といいますか、先駆けても平成16年度から継続をして開催しております、それぞれの小学校区で特色のある事業を展開しております、例えば美幌小学校でいきますとお正月時期に「親子で正月を楽しもう」ですとか、あと盆踊りの講習でしたり東陽小学校でいきますと東陽小学校のシンボルフラワーですか、学校のシンボル「ひまわり」ということもあって、校区の自治会や校内にひまわりを植え環境美化をやったりだとか、あと旭小学校でいくと学校の運動会に参加されるお子さんにチョコバナナをふるまったり、手作りおもちゃの講習をやったりですとか、そういった地域の大人が持っている知識や技術を持って子どもたちと交流するみたいな事業をやっています。ただ、ちょっとコロナの関係で令和2、3年はちょっと止まっていて令和4年はでき

た学校とできなかった学校であったんですけども、地域の大人の皆さんが学校に以前はお邪魔させていただいていたんですけど、令和5年度に以降徐々に復活できていくのかなと思っているんですけど、それぞれの校区の運営委員会が主体となって活動していただけてまして、そこに継続的に今後も支援していきたいと思っています。あと、学校運営協議会については社会教育課でやっているものとは別な形ですね。いわゆる、文部科学省指示のもと一応全国の学校に置くということになっているので、そこはちょっとまた活動を分けているんですけどそういった形でやらせていただいています。

(下山委員)

ありがとうございます。

(牛島委員長)

よろしいですか。他いかがでしょうか。

コロナの関係ですよね。

3年間一変していく。活動も大きく変わってきたんですけど、少しマスクも取れるかなとか、国としては風邪の分類にしようかなとかやっとな落ち着いたのかと思うところもありまして、そういう流れになってきていると思いますのでちょっとブレーキのかかった事業なんかもですね、各課でまた推進しやすくなるのかなと明るい兆しも見えておりますので、引き続きコロナに気を付けながら事業を多く展開できることを願っています。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは報告事項1 令和4年度美幌町社会教育関係各課・各館の事業実績を終了いたします。

#### 4 協議事項

(1) 社会教育委員の研究調査について

(牛島委員長)

次に協議事項に入ります。

協議事項1、令和4年度美幌町社会教

育委員の研究調査についてを議題とします。この件につきましては事務局より説明をお願いします。

(野村主査)

それでは社会教育委員の研究調査ということで事前に郵送でお送りさせていただきました資料3ということで、研究調査報告の案をお示しさせていただいておりますのでその中身についてご説明させていただきたいと思っております。今年度第8次中期計画の推進目標3であります「多様性を尊重した学び」についてということで、多様性というものが一体どういったものなのかということについて議論を進めてまいりました。

報告書の中身に入っていきますが具体的にはまず3ページになりますけれども、研究調査の取組ということで昨年7月の会議で意見交換をしたのを皮切りに12月に研修会、そして1月に教育委員さんとの意見交換を兼ねてグループワークということで意見交換をさせていただいております。4ページ以降ですね。研究調査の内容について記載をさせていただいております。まず、7月14日の会議の時には、先入観なしに「多様性」という言葉がもつそれぞれのイメージをですね。自由に発言してもらって情報共有をすることで始めさせていただいてグループAとグループBこちらに記載の通りの意見が出ていたというところで記録させていただいております。

5ページ、12月10日の研修会では先ほど立花課長からもご報告申し上げましたけれども、多様性理解を深めるための研修会ということでJICAの職員にお越しいただきまして多様性を理解するための体験ゲームや美幌町に外国人が増えて良いと思うことや悪いと思うことなどについてグループワークをして大変有意義なことが出来たかなと思っております。グループワークといいますか異文化体験ゲームに参加した後に参加者から寄せられた感想について載せさせていただいております。ある意味ではこの

研修会に参加した皆さんこの意見というのが町民の皆さんの声だというような捉え方もできるかなというふうに考えております。

ちょっと飛びます。7ページにいきまして1月の社会教育委員会議にですね。第5回の会議の時に教育委員の皆さんと社会教育委員の皆さんで議論したことについてホワイトボードにまとめたものをですね。あの、これでいいかというところもちょっと感じながらもまとめさせていただいたということでグループAとグループBそれぞれでまとめさせていただいております。

8ページに考察ということで、そんなにたいそうなものではないんですけど1月の会議で2つのグループの会議ですね、こういうことかなということでもまとめさせていただいております。やはり今回の研究調査でわかったことは外国人ですとか色々な価値観を持った方もそうなんですけどやはり言葉が通じる日本人同士のコミュニケーションの在り方ですとか、後はそういった様々な立場に置かれた方を受け入れる住民の皆さんのゆとりですとか余地っていうのをどうやって作っていくのかということが問われた研究調査でなかったかなというふうに考えております。新型コロナを契機にですね、本当に人と人が直接会わなくても何となく生活できる世の中になっているんですが、やはり社会教育行政としては、人と人が直接会って、それで人の心を少し揺り動かす体験っていうのがやはりまだまだ必要ではないかというふうに感じています。そういった気持ちを原案とした形でまとめさせていただいてますし、この中期計画の目標実現のためにPRにも一層力を入れていきたいなというふうに考えております。

それで、11ページ以降は皆様にご協力いただきました事業視察のまとめですね。2月末現在までいただいたものについて資料というかグラフに、あと感想ということでまとめさせていただいておりますのでこちらについてはお読み取りいただきたいというふうに考えております。

また、17 ページには今年度の社会教育委員の皆さんの活動を実績ということで一覧表をまとめさせていただいております。あのコロナ禍ではあったんですけども、予定していた会議それから事業、研修、事業視察等々含めて概ね当初の計画通り実施することが出来たものと考えております。

18 ページ以降については 12 月 10 日に開催された研修会の資料を添付させていただいております。この内容を持って調査報告案ということでまとめさせていただいております。このあと皆様方からご承認を頂ければこの内容を持って委員長の方から教育長の方に研究調査報告受け渡しさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

(牛島委員長)

事務局の方から説明ありました。委員の皆さんに積極的に参加していただいた研修会だったなと思っておりますし、充実してくれたらというふうに考えております。

なお事業評価に関わる事業視察についても積極的にグループで取り組んでいただきまして、報告にあるとおりでできたかなと思っております。色々お時間をいただきました、視察をしていただきましたことについて感謝を申し上げたいと思っております。

どこからでも結構ですがご質問、ちょっと聞きたいなとかありましたらいただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

それぞれここにいらっしゃる委員の皆さんがですね、参加されたまたは協議された中身ですが、よろしいですか。

委員のお力を借りてですね。事務局のお力を借りて大きな冊子にまとめることが出来ましたし、私たちの成果かなと思っておりますので次年度に引き継ぎしていきたいと思っております。

承認いただけたということでよろしいですか。

【一同承認】

(野村主査)

それでは、委員長のほうから研究調査報告を教育長の方に手渡しいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

教育長には案を見ていただきましたけれども、私たちの活動の成果としてお受け取りいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。(委員長より教育長へ手交)

(矢萩教育長)

ただいま牛島委員長から報告書をいただきました。今、野村の方からも説明ありましたけれども多様性に関する記載がありまして私も非常に心に響いたところがあります。

改めてご紹介させていただきたいと思っておりますけれども資料の 1 ページになりますけれども、中段で「一言で多様性といってもその切り口は様々であり、これが正解というものはありません。ただ、お互いを思いやり配慮し、それぞれの生き方を認めあうことは新型コロナウイルス感染拡大を機にデジタル化が急速に進み、人と人とが直接触れ合わなくても日常生活を送ることができるようになった現代社会だからこそ重要なものであり、このことを再認識する研究調査となりました。」とあります。

まさしく本当に人と人、心と心の交流、学びは社会教育活動の基本であり、魂の部分なのかなと痛感しているところでございます。このような研究調査を通じて多くの気づきと学びにつなげていただきました皆さんに改めて感謝とお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

(牛島委員長)

教育長ありがとうございました。

それでは以上で協議事項 1 令和 4 年度美幌町社会教育委員の研究調査について

てを終了いたします。

## (2)社会教育委員会議日程等について

(牛島委員長)

次に協議事項 2、令和 5 年度美補幌町社会教育委員会議日程についてを議題といたします。事務局からお願いします。

(立花課長)

議案の 3 ページ目をご覧ください。

表形式で記載していただきましたので各自で見ただけであればと思いますが、令和 5 年度の補助金についてですね。令和 5 年度の 4 月という形で今までやってきておりました。既に 3 月の定例町議会も終わりました、議決されたものを審議するという追認というような形になっていたの、社会教育委員活動の主旨と照らし合わせた時に、補助金交付団体の活動実績を見ましてですね。補助金を交付することが適当かどうかについて皆様から意見をいただくというのがその主旨となっております。そういったことから、表にあるとおり 4 月にやっているものを 11 月にずらして、今年で考えますと令和 6 年度予算に向けての審議をするということで皆様の意見を実際の予算編成に反映させるというような形に変更させていただきたいというように考えております。ただ今回につきましては、審議も何もなしで令和 5 年度の補助金交付団体に補助金を交付することにはなりませんので、こういった変更を認めていただいた上で、この後の協議事項で令和 5 年度の補助金交付についての審議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(牛島委員長)

ただいま事務局より説明ありました。ご提案ありましたけれど、来年度以降の補助金交付の審査について皆様の意見等を反映させていただけるよう 11 月に行いたいという提案でございました。会議の開催も原則

奇数月ということで 1 年間進めていきたいというふうに賜っております。

ただいま説明あったとおりですがご承認いただけますでしょうか。

(野村主査)

ちょっと補足なのですが、以前は 11 月もしくは 12 月の会議で補助金交付団体の審議をしていたんですけど、色々な経過、町民の皆さんへの情報公開ですとか会議の傍聴ですとか自治基本条例ですとか色々な流れの中で、この補助金交付団体の審議が 4 月になっていて、結果的に議会の議決を経た後に町民の皆さんにそれを知らしめるという部分もあって、4 月ということで審議をしていたんですけど、結局議決後の追認という形になっておまして、社会教育委員の皆様本来の役割でいうと、特に 11 月はもともと新年度の事業計画案を各課から説明させていただいて予算の増減を伴う部分のご意見も含めていただけるのが 11 月の会議であることも踏まえまして、社会教育委員の本来の役割を考えた時にはやはり 11 月の会議でご審議いただいて、先ほど課長からお話あったように予算の増減を含めたご意見をいただいた中で新年度予算編成に向かうというタイミングが適当かなと、美幌町ではその時期が良いのかなというふうに思っております。他の町では色々な時期があってこれが正解とかないんですけど美幌町の現状でいけば 11 月に審議させていただく、元に戻すような形になるのかなというふうに考えております。

(牛島委員長)

予算等々に関わってこの時期に各団体の補助金申請について社会教育委員会議で審査をしお願ひすると。それが 3 月の町議会で承認されて執行されるという形になります。実は令和 5 年度の予算はすでに議会で承認されていて、これを私達社会教育委員会議が追認するという形になって

いて、認めざるを得ない。これがちょっとおかしいということで、これをもとに戻すということで、本当にその通りかなと思いますので、この件次年度から進めさせていただくということによろしいですね。

ありがとうございます。

### (3) 社会教育委員関係団体に関する補助金交付について

(牛島委員長)

次に協議事項3 令和5年度美幌町社会教育関係団体に対する補助金交付に対する補助金交付についてを議題とします  
事務局より説明をお願いします。

(立花課長)

議案の4 ページ目になります。まず、審議に入る前に社会教育委員さんからご意見をいただく理由ということで今の協議事項の中でも触れておりましたけれども、社会教育法によりますと地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする時は社会教育委員会議で意見を聞くことが社会教育法の第13条ということで規定がされております。

そういったところから、先の協議事項で審議時期を変更することになったのですが、先ほどちょっとご説明しましたとおり、まるきり審議しないで交付ということにもいかないものですから、令和5年度分につきましては先ほどからお話が出てますとおり追認という形になるんですけども、この後審議をしていただきたいというふうに考えております。議案の目次に記載の3団体につきましてご意見をいただきたいと思っております。また、この3団体に関係する委員さんが本日いらっしゃいますのでその際には一度退席していただいて審議するとそして終り次第戻っていただくというような形で考えております。

(牛島委員長)

それでは、はじめに(1)美幌町PT 連合

会について審議といたします。本日、辻委員は欠席されておりますのでそのまま審議を進めて参りたいと思います。

事務局より説明をお願いします。

(立花課長)

はい。それでは美幌町PTA 連合会、表の一番上の団体になります。代表者は佐藤朴元様。団体の目的としましては各学校の積極的な活動を助長し、その目的達成に必要な援助並びに会員相互の連絡提携と融和を図ることとなっております。

令和5年度の要望額は148,000円で、令和4年度当初予算額と同額となっております。こちら記載のとおり実績につきましてはコロナの影響で各種事業が中止になっているところですが、令和4年度の交付実績は0となっておりますけれども、その中でもですね。資料4の1~5ページ目が関係資料となります。感染の状況が落ち着いてる時などを見計らって、参加できるものには参加していく形となっております。それに伴う予算の収支ですけど3ページ目に記載があります、先ほどの書面開催や中止となった事業があったことから美幌町からは補助金の交付がない状態で事業に参加、実施をしてまいりました。

4ページの令和5年度の事業計画についてですけどもこちら、コロナが収まることを期待しつつという状況だと思うんですけど例年ベースで実施するというような形となっております。その中で9月ふるさと祭りのちようど下になりますけれどもオホーツク中部地区PTA 連合会母親研修会が美幌町で実施予定ということで我々、社会教育課としてもバックアップしながら開催するという感じになります。

それと事業等々に係る経費ということで次の5ページ目の会計の収支予算案になるんですけども総額で362,785円の収入をいただき、また、同額をそれぞれの事業で支出するようになっています。

令和4年度と予算ベースでは同じ

148,000 円ということになっています。ただ、繰越金がない見込でスタートするので、若干事業の方を精査しまして削減できるところは削減してという感じで予算の方も作成されているという状況です。

以上で令和 5 年度の計画となっております。

事務局の方で内容を精査しまして補助金支出が適当と判断しました。以上ご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がございましたが、皆様方よりご意見やご質問はございませんか。

(茂手木委員)

3 ページの収支決算の中の 1 番の会費で今年度美幌高校から徴収しなかったとの事なんですけど、その理由っていうのは一体何だったんですか。

(野村主査)

美幌高校からは例年、生徒 1 人 1 人からではなく学校として確か 1 万円だったかなと。そういう形で毎年負担いただいている、PTA 連合会の予算の多くが、いわゆる上部団体であるオホーツク中部地区PTAということで小中の動きを想定して会費の 1 万円を徴収しなくても、会の運営として繰越金とか自己財源などがあってその中でやりくりできるということで令和 4 年度については美幌高校さんからは徴収しなかったという判断に至ったものと思っております。思っておりますとしか言えないのですが、多分そういう経過だと思います。

(立花課長)

確認はしてないんですけど、去年の事業実績の 2 ページ目ですね。7 月に美幌町 PTA 連合会「6 校のつどい」ということでここが美幌高校さんに関係してくる部分で

その事業が中止になっているところも恐らく関係してくるのかなと受け止めておりました。ただ、はっきり確認はしていないんですが。すみません。

(牛島委員長)

色々コロナとかは影響がありますね。良く事情が分かりましたので良かったと思います。

他の方どうでしょうか。

よろしいでしょうか。

【一同承認】

(牛島委員長)

それでは美幌町 PTA 連合会の補助金交付について承認いただいたということでよろしくお祈いします。

次に美幌町文化連盟の審議に入りますが、私当事者ですのでこの後柰師副委員長にお願いし、私は退席しますのでよろしくお祈いします。

(柰師副委員長)

それでは進行を交代します。

美幌町文化連盟について審議しますので事務局より説明をお願いします。

(立花課長)

はい。先ほどと同じ議案 4 ページ団体一覧中段②の美幌町文化連盟になります。

代表は牛島義蔵様、団体の目的は美幌町における文化団体の連携・協調を図り、本町の文化の発展に期するものとなっております。令和 5 年度要望額は 225,000 円で令和 4 年度と同額となっております。文化連盟の内容につきましては先ほどの資料 4 の 6 ページから 12 ページが関連する資料になります。

まず、7 ページの令和 4 年度に実施された主な事業ですが、文化連盟につきましても新型コロナウイルス感染症拡大の観点から対策を行いながら、今まで同様にフル

の状態ではない部分もありますけど、若干縮小したりしながら実施してきております。

感染拡大が大きくなったため、実施することが出来なくなった新春文化交流会がございますけれども、他の事業については感染対策をしながら実施してきております。

8 ページ目をご覧くださいと思います。こちらにはそれぞれの詳細ということで記載がされております。文化祭につきましては「びほーる」の座席数は前 2 列を除いた 456 席を 1 つ飛びとかではなく、また指定席とかでもなく皆さんに除菌シートをお配りして自分の身を守るコロナ対策を実施して 456 席を開放しての実施となっております。

また、前年度同様に当日の映像を編集しまして、教育委員会公式 Youtube チャンネルでの配信も実施しております。

9 ページの収支決算状況になります。収入につきましては記載の通り会費のほか、町の補助金として当初の予定どおり 225,000 円、事業収入といたしましてチケットの売り上げなどが 289,500 円ということと、それから雑入ということで自販機の利息となっておりますけど DVD 販売の売上げなどもあるということで 46,200 円ということとなっております。

支出の部では事業費が主な支出となりますけども、毎年発行している文化誌の編集と発行、それから文化連盟の独自の表彰、それから芸術祭の開催経費、また周年記念事業のための積立金も支出しております。合計が 685,746 円というふうになっています。差引 2,000 円が翌年度へ繰越ということになります。

続きまして 10 ページ目になります。令和 5 年度の事業計画ということで記載がされております。例年どおり芸術祭、文化祭、芸術文化鑑賞事業の開催についての事業計画、それから新春文化交流会、これにつきましては令和 4 年度が中止ということですのでぜひ開催したいというふうにお聞きしています。

令和 5 年 5 月 8 日にですね。コロナウイルスが 2 類から 5 類になるということで、何となく規制が緩くなる感じがするんですけども、やはり人が集まるということで必要な感染防止対策をしながらそのような事業を実施していきたいと思います。

12 ページに収支予算、詳細が記載されていますので見ていただければと思います。事業の実施につきましては 11 ページの令和 5 年度の予算案に基づきまして実施をしていくことで収入総額につきましては例年ベースで 618,000 円ということになります。

支出につきましては事業費の他文化誌の発行で 200,000 円、芸術祭の経費で 90,000 円、新春文化交流会で 50,000 円というのが主な支出となっております。合計で 618,000 円となっております。

以上が令和 5 年度の計画となっております。事務局の方で内容の精査をさせていただきまして、補助金の支出は適切だと判断しましたのでご説明させていただきましたのでよろしくお願いします。

(空師副委員長)

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありました。皆様方よりご意見ご質問はありませんでしょうか。

ありませんか。

それでは美幌町文化連盟の補助金交付につきましては承認することとしてよろしいでしょうか。

【一同承認】

(空師副委員長)

ありがとうございました。

それでは美幌町文化連盟の補助金交付につきましては承認されました。

次に特定非営利活動法人美幌町スポーツ協会について審議を行います。

退席いただいている牛島委員長にお入りいただき、関係する伊藤委員におかれま



しては退席をお願いします。

牛島委員長が戻られましたので、ここからの進行を再び牛島委員長に交代します。

(牛島委員長)

それでは再び進行を交代いたします。

特定非営利活動法人美幌町スポーツ協会について審議いたします。

事務局より説明をお願いします。

(浅野課長)

それでは、私の方から説明させていただきます。資料4の13ページをお開きください。特定非営利活動法人美幌町スポーツ協会より関係書類を提出いただきまして14ページ令和4年度の事業実績ということでいただいておりますが、今年度につきましては記載のとおり、施設管理または各団体の育成支援、またスポーツ講演会等の事業等を実施していただいているところではあります。これまでコロナ禍による影響が大きく、町民体育を語る夕べが開催できず、またグランドホテルの会場等の関係等もありまして令和4年度、または来年度もそうですが開催できずという状況になっています。それ以降につきましては例年同様実施していただいているところでございます。

次の15ページに令和4年度の決算見込を載せておりますが、こちらにつきましても当初予定どおり町の補助金、負担金それと先ほど言いました町民と体育を語る夕べについてはスポーツ協会が予算決算等を担っておりますが、ほか施設管理含めまして円滑に事業の方を実施していただいているようなところでございますので内容につきましては記載しておりますのでご覧いただければと思います。

続きまして17ページになりますが令和5年度の事業計画案ということではあります。先ほどと同様にイベント事業につきましてはスポーツ協会独自の収益事業となる町民と体育を語る夕べにつきましては来年

度も実施しないということでまたそれに代わるものを役員と話し合っていくことでお聞きしています。

その他の事業ですが自動販売機収入なんです。トレーニングセンター、またサニーセンター等に設置しております自動販売機の収入も利用者の減ですとかマイボトルを持ってきたりということでそちらの収入も減ってきている状況ではあります。それ以外施設の管理をしていただいておりますので事業につきましては今年度同様実施していくという予定で進めていきたいと思っております。

18ページ、予算となりますが予算につきましては例年同様の予算ということになっています。施設の維持管理につきましては物価高騰ですとか人件費高騰により若干の増となりますが予算につきましても例年同様の見込で予算計上していきたいということでございます。

また町補助金につきましては、例年同様1,125,000円ということですが、これにつきましてはスポーツ協会補助金交付要綱に基づきまして積算した上で適切な補助金ということで考えておりますのでご承認いただければと思います。

20ページにはスポーツ協会の加盟団体ということで24団体が加盟していただいております。解散と脱退した団体等ありましたが令和4年からは6番目の美幌町相撲連盟や美幌町サイクリング協会など新たな団体が加入していただいたということで引き続き美幌町のスポーツ振興にご支援いただけるものと思っています。

よろしくをお願いします。

(牛島委員長)

ご説明ありがとうございました。

皆様方からご意見ご質問ありませんでしょうか。

いかがですか。よろしいですか。

それでは特定非営利活動法人美幌町スポーツ協会について承認することによろしいでしょうか。

#### 【一同承認】

(牛島委員長)

ありがとうございます。美幌町スポーツ協会の補助金は承認されました。

以上で協議事項 3、令和 5 年度美幌町社会教育関係団体への補助金交付についてを終わります。

退席いただいていた伊藤委員が自席に戻ってまいりますので少々お待ちください。

#### (4)社会教育中期計画単年度評価について

(牛島委員長)

次に協議事項 4、美幌町社会教育中期計画単年度評価についてを議題といたします。第 8 次計画に掲げている推進目標がどの程度達成されているかの評価作業ですが、第 8 次計画は 1 年目が終了することとなります。昨年度は、第 7 次最終年の評価を皆様に取り組んでいただいたと思いますが、評価方法についておおよそ、ご存知かと思いますが、初めて作業をされる委員もいらっしゃると思いますので、再確認の意味も含めまして事務局から評価方法について説明をいただきたいと思います。

(野村主査)

それでは第 8 次美幌町社会教育中期計画単年度評価ということでクリップ留めをした表紙があったと思います。そちらをご覧くださいながら説明させていただきたいと思います。

第 7 次の計画から、美幌町社会教育中期計画の単年度評価についてはその推進目標の達成がどの程度されているかというのを社会教育委員の皆様には評価をしてい

ただいております。第 8 次計画についても同様に単年度評価に取り組んでいただくということで昨年の会議で確認させていただいております。

今回はそのことに基づきまして単年度評価の内容についてご説明をしたいと思いますので記載例という資料が 1 番上についていると思いますが、記載例をちょっとご覧いただいて。まずお名前を必ず書いていただくということをお願いしたいということで、赤枠です。必ず記載してほしいというのが中期計画の推進目標自体の 5 段階評価ということになります。こちらは行政の方で評価はせず、社会教育委員の皆様による評価作業をお願いしておりますので 5・4・3・2・1 のどこかに必ず丸を付けていただいたいというふうに思います。

推進目標に基づく各課の取組の行政評価として先ほど資料 1 で A・B・C でご説明させていただいた中身も、今ご覧いただいている評価表の方に記載をさせていただいております。それぞれの各課の取組に対する皆様の評価についての記載は任意とさせていただいております。事業視察で見させていただいたグループ、それから資料 1 資料 2 でお配りした事業実績の資料、それから資料 3 の研究調査報告の内容を踏まえて、こちらについては任意ですとなりますが記載できる範囲の中でまるを付していただくということをお願いしています。また、評価の下段の方にですね、理由や感想ということを書く欄を設けております。こちら自由記載ということで書いても書かなくても結構でございます。

推進目標 3 の評価表の下に、その他ということで本当に自由記載ということで書く欄を設けておりますので評価に関わらない部分で何か書きたいこと等があれば是非、この欄にお書きいただきたいというふうに考えております。

必ず記載していただくのが、皆様のお名前と推進目標自体の達成度ということで赤枠で太くかこっている 5・4・3・2・1 のどこ

ろ。これを必ず書いていただいで評価をしていただきたいというふうに考えております。

先ほど申し上げたとおり、行政の方では推進目標そのものの評価はしておりません。社会教育委員の皆様からいただくものが唯一のものとなっておりますのでご協力いただきたいと思ひます。

評価票の枚数は去年まで3枚だったんですけれど今年は2枚に減らすことが出来ました。3枚から2枚に減らすことが出来て少し軽くなったかと思ひております。

本当に丸付けしていただくだけの評価ということで手掛けやすいというところなんですけれど、まるを付けていただくだけで評価が完結できる形になっておりますので、是非とも、評価ということで皆様のご協力をいただきたいと思ひます。

4月ですね、昨年まで4月に会議があったのでその会議の際にご提出をお願いしていたのですが、次年度は4月の会議の開催を今のところ予定しておりませんので、期日を4月20日木曜日、この日までにご提出をお願いできればというふうに考えております。

繰り返します。4月20日です。1カ月ほどの作業ということでございますけれども、皆様からのご意見をしっかり受け止めさせていただいて次年度へつなげていきたいと考えておりますのでご協力お願いいたします。

また、こちらの評価につきましては教育委員会全体で事務事業点検評価報告というのを教育委員会全体でまとめておまして、その中で社会教育関係の基礎資料ということで活用させていただく他、次期となる第9次中期計画の基礎資料ということで毎年度積み上げていくこととなります。

また、実名が出るということではないんですけれども皆様からいただいた評価の内容についてはその内容と教育委員会ですらまとめた点検評価報告書という形で議会に報告され町民の皆様にも公開されることにな

りますのでその点ご承知いただきたいと思ひます。

説明は以上になりますが、何かやり方が分からないとかありましたらご質問をお受けしたいと思ひます。また、メールで評価票が欲しいという方がいらっしゃればメールでお送りすることも可能ですので遠慮なくおっしゃっていただければというふうに思ひておりますので、よろしくお願ひします。

(牛島委員長)

はい。ここで質問ある方いらっしゃいますか。もしくは不明な点がございましたら主査の方にご連絡していただければと思ひます。

ひと月ありますけれど、今日色々説明いただいたので記憶の新しいところでサクサクと仕上げていただければなと思ひますので。

私たちの大事な仕事の1つですよ。早めにご提出いただければと思ひますので一つよろしくお願ひいたします。

締切日は4月20日木曜日でございます。

以上で、協議事項4、第8次美幌町中期計画の単年度評価についてを終わります。

## 5 その他

(牛島委員長)

次にその他についてです。はじめに各課課長・館長からの連絡事項につきましては、お手元に配布されております資料5、各課長・館長連絡事項をご覧くださいことでお知らせに代えさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。特に、ご質問等ございませんでしょうか。

次に、次回会議の日程等について、事務局より説明をお願ひします。

(立花課長)

本日は長時間にわたりましてボリューム

満載の会議ということでご出席いただきありがとうございます。

皆様におかれましても現任期の方が年度明け5月10日までということで10日までには先ほどの評価を提出していただきたいと思いますが、次回の会議につきましては申し訳ない方も出てくるかもしれないですけど新たな委員ということで、評価につきましては報告されますのでくれぐれも期限の遅れなくご提出を、と思っております。

委員の改選期ということもございまして、今この場で次回の会議が何日ですというのは申し上げることが出来ない状況にあります、一応中旬ということで5月中には開催したいと考えております。

継続される委員の方、また新たにされる委員の方などそれぞれあるかと思えます。会議のご案内につきましては後日文章の方でご案内したいと思いますのでよろしくをお願いします。

以上になります。

(牛島委員長)

既に、冒頭で事務局よりご説明ありましたように町議員になられて退任されている方もおりますしPTA 联合会の方も任期途中ですが変わられる方が何人かいるのかなと思っております。

ここです。今期で退任されるという情報が委員長、副委員長に來ましたので今日出席いただいている方の中で、長く私の先輩で様子を見ていただいた寺田委員が退任されるというお話を聞いております。色々な思いがあると思いますのでせっかくの機会ですのでご挨拶いただければと思います。

寺田さんお願いします。

(寺田委員)

牛島委員長からご紹介いただきましたが私社会教育活動奨励員という社会教育の活動をする団体がありまして、その中の

代表ということでここに参加させていただいているんですね。

それがちょうど20年になりました。僕が今57なんですけど47、8ぐらいで最初の子どもが小学1年生の時から社会教育活動に参加させていただいています。その流れの中でここにいたのが平成23年からですので、そこから12年間社会教育委員として活動に参加させていただきました。

本当に今、これが最後の会議なんだなと思いつつ色々昔のことを思い出したりとかしていたんですけど、本当に1番強く印象に残っているのは中期計画の推進目標のところまで2回参加させていただきました。

その中で色々な委員の皆さんと美幌の町のことを議論したりとかですね。こんな風な社会教育になっていったらいいよねっていうような理想も自分の中に結構あったりしてそんなことを自由に発することを許していただきまして、委員長さんはじめ本当に多くの方、特にそこに座っている野村さんとか担当されていた方にはたくさん迷惑をかけたと思うんですけど、そんな中で受け入れていただきながら美幌の町に社会教育に参加させていただいたこと本当に誇りに思いますし、いっぱい思い出を作らせていただきました。

その中でちょっと話したらまた色々視察に行ってきた裏側とかですね。

美瑛町とか富良野市とかいってきたりしてちょっと多めに時間を作って委員長さんとか他の皆さんともお話しできたのもすごく刺激になりましたしとてもいい思い出になっています。

ちょっと名残惜しくてですね。やめると言ってから寂しい思いも出てきたんですけど僕もちょっと60を前にしまして自分自身の生活をちょっと見直そうかと思いました。

4年位前から色々な役が自分の中で増えてきたりしてしまって、もうちょっと自分の中では丁寧にやっていたんですけど、少し自分の中で雑さを感じてきたりしてしまっている部分があって。原点に戻って、もう一

度これからの生き方などを考えながら美幌の町でより楽しく住んでいきたいなと思っていますので、これから参加する事業がいっぱい博物館と図書館もスポーツセンターもそうですし事業がいっぱいありますのでそういったところにも参加する余裕ができたらいいなと思いました。

本当に 10 年間色々言わせていただきありがとうございました。

(牛島委員長)

長い間本当にお世話になりました。

今後とも社会教育の活動に応援団としてお力添えいただきたいと思います。

それでは、次回の会議ですが 5 月の中旬ということでご確認をお願いします。

本日の議案は以上となりました。

予定より若干早く終わったのかなと思います。皆様ご協力いただきましてありがとうございました。

引き続きお世話になる委員もいますので 5 月にはここにいる委員の皆様と新しい委員を迎えてですね。できればいいと思いますのでよろしくお願いします。

以上を持ちまして令和4年度第6回美幌町社会教育委員会を終了いたします。

皆様、大変お疲れさまでした。

【閉会】